

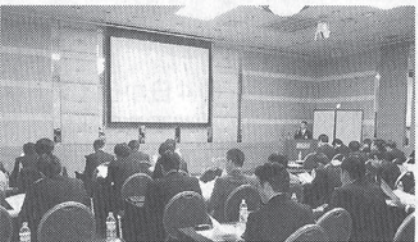
静脈産業の 将来を展望

ESJが

記念講演会

優良な廃棄物処理・リサイクル業者の全国ネットワーク構築を進めるエコスタッフ・ジャパン(ESJ、東京都中央区)は先月28日、7周年記念講演会「静脈産業コンソーシアムの将来展望」『国際展開』と『小型家電リサイクル法』を都内で開催した(写真)。

ESJは06年に民間静脈産業の有志により設立され、現在認定企業は全国38社となり、安心・安全な廃棄物処理・リサイクルをオールジャパンで実現することを目指し、独自に活動を続けている。今回の記念講演では経済産業省リサイクル推進課長の渡邊厚夫氏、環



境省循環型社会推進室長の永島徹也氏が国の施策について、またESJ顧問で慶応義塾大学教授の細田衛士氏が「静脈産業コンソーシアムの将来展望」について講演した。

細田氏は静脈物流コンソーシアム化の重要性を訴え、「1社ではなく2社、3社と多くなることによって複合効果が生まれて掛け算的に質が上がり、物流効果が向上する」と指摘した。